

道具としてのファイナンス 問題編

【問題 30】

あなたの会社は現在、東ティモール近海に油田を所有している。この油田からは、永久的に年間 10 億円のキャッシュフローが生じることが期待できる。一方で、あなたの会社には、正味現在価値 (NPV) が 12 億円ものキャッシュフローを生み出す優良な投資機会がある。株主の期待収益率を 10% (= 適正な割引率 10%) とすれば、株価はいくらだろうか？ ただし、あなたの会社には、有利子負債はなく、全額株式調達 (発行済株式数 50,000 株) とする。

【解答】

まず、最初におさえておきたい点は企業価値 = 事業 A の価値 + 事業 B の価値 + … であるということです。したがって、ここでは、あなたの会社がもっている油田の価値と投資機会の価値の合計が企業価値と言えます。

油田の価値とは、将来油田が生み出すであろうキャッシュフローの現在価値の総和です。ここでは永久債の現在価値を求める公式を使用します(セル C6)。 道具 32 ページご参照

	A	B	C	D
1				
2		発行済株式数	50,000	
3		株主資本コスト	10%	
4		年間CF	1,000,000,000	
5		NPV	1,200,000,000	
6		油田価値	10,000,000,000	<- =C4/C3
7		企業価値	11,200,000,000	<- =C6+C5
8		株価	224,000	<- =C7/C2
9				

こうしても求めた油田の価値に投資機会の正味現在価値 (NPV) を加えたものが、企業価値となります。企業価値 = 有利子負債 + 株主価値の関係にあります。あなたの会社には、有利子負債がないことから、企業価値 = 株主価値といえます。この株主価値を発行済株式数で除したものが株価と言えるわけです。

企業価値については、道具 133 ページご参照。今回は、ふーん、こんなもんなんだと思ってもらえれば結構です。